

すべては一枚のプレートから始まった

ある日のこと、事務局の奥の方から一枚のプレートが…
●エコミュージアムはNGOヒマラヤ保全協会（IHC）と国際ロータリー2650地区、カトマンズRCとの共同事業である

●IHCのアンナプルナ総合環境保全プロジェクトの

一つムスタン環境保全型地域開発プロジェクトの中で地域開発センターが計画され、1992年度ロータリーから約1,700万円が支出されたようだ

●ところでIHCは今もあるの？

ありました、ネパールで植樹事業のほか色々な活動をしています
●でもIHCはエコミュージアムの管理・運営から離れた15年前に、ACAPという団体に管理・運営を移管したそうだ

RI2650地区のネパール支援活動

プレートとナマステ基金

① 1993年、施設に取り付けられたプレートに間違った表記があったそうで…、当時の松久保地区国際奉仕委員長が、再度作られて、当クラブへお持ちになり、取り換えを当クラブに依頼され、今日に至っているそうな…。

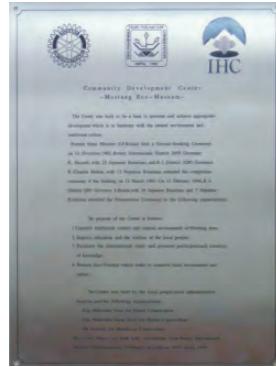
② ナマステ基金の当初の目的は、ミュージアムの管理運営にその果実を充てるのが目的だったようだ。

ネパールってどんな国

- 国名：ネパール連邦民主共和国
- 面積は140,800km²（北海道の1.8倍位）、東西885km、南北145~200km
- 標高は、70m~8,000m超（亜熱帯～高山帯）
- 気候は乾季と雨季が明確である
- 人口は2,662万人（2011年の人口調査）、カトマンズ首都圏には170~180万人
- 50を越える多民族国家
- 一人あたりのGDPは約640ドル（日本は約46,200ドル、2011年）
- 世界各国から援助が入っている（英、米、独、西、ノルウェー、日本ほか）

ネパール支援事業案

1. プレートについては再作成し、取り付ける
 - ・英語のみではなく、ネパール語ならび日本語を並記
 - ・内容についても要検討（政治体制の変化）
2. エコミュージアムの運営・管理について調査
 - ・ヒマラヤ保全協会とコンタクトをとる
 - ・管理・運営経費は、ほぼ足りているようである



3. ナマステ基金を利用して、ネパールへの支援事業を林ガバナーの遺志を尊重し、地区補助金の利用も視野に検討
 - ・植林事業（ヒマラヤ保全協会を通して）
 - ・識字率の向上（RIの重点分野、ネパールの国策でもある）
 - ・ジョムソンへの支援はこの20年間の間に十分に行われている
 - ・首都カトマンズから日帰り圏内の村の小学校へ（図書館の充実）

ネパール視察旅行の内容

- Jomosomのエコミュージアムの現状確認
 - ヒマラヤ保全協会、ACAPの方と面談
 - プレート取り付けの可否
 - 建物、展示物、備品等について
 - ロータリーの森の現状 他
- 20年前お付き合いしたカトマンズRCを表敬訪問
 - 米山奨学生で、国立トリップバン大学教授がカトマンズRCに所属
- カトマンズ近郊の支援候補の小学校を視察し関係者と懇談
 - 図書室の設置あるいは充実もさることながら、管理者の育成も必要
 - ロータリークラブがある場所を候補地としている



視察メンバー

2月誕生日お祝い …… 8名

山口 迪夫 佐々木弘之
平山 富三 織田桂蔵
西藤 浩一 薮山雅一
白崎 裕二 白崎弘康



2月連続出席お祝い …… 5名

石川 満夫 谷尾榮一
白崎 弘康 玉村一男
小泉 義廣

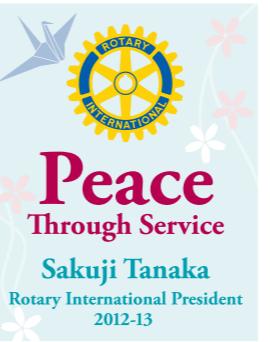


ニコニコ箱 …… 27,000円

○佐々木会長 ○石川 満夫 ○白崎 弘康
○小泉 義廣 ○宇野 晃成 ○白崎 裕二
○西藤 浩一 ○服部 秀一

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650

2013.2.12 No. 2269



TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

Bridge the Gaps

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

創立／1954年（昭和29年）6月30日

事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

例会日／毎週火曜日

例会場／武生商工会館

会長／佐々木忠彦

幹事／河嶋 一

会報委員長／丹羽 新吾

史上最大の海難事故を起こしました。1,500余名の犠牲者を出したことは皆さん御存じですね。北極海の氷山は、時として大西洋を南下し、航行中の船舶にとって危険な存在になります。

一方、根室の「流氷まつり」で知られる流氷。これも船の航行を妨げる厄介者ですが、海を埋めつくした流氷原はどこまでも歩いて渡っていけそうで、なんとなくロマンを感じさせます。

この氷山と流氷は、単に大きさが違うだけではありません。全く別の種類のものなのです。

氷山は、海に浮いていても、海水が凍ったものではありません。陸地の氷河が海に押し出され、流れ出したものです。氷河の水の原料は雪ですから、氷山の氷は溶かしたら真水になります。南極の氷山をアラブの乾燥地帯まで引っ張ってきて、水資源として使おうという話がありますが、これも氷山の氷が不純物を含まない純粋な氷だから考えられる計画なのです。



会長挨拶 佐々木会長

2月4日は「立春」です。この日から立夏の前日までが春です。まだ寒さの厳しい時期ではありますが、日脚は徐々に伸び、九州や太平洋の暖かい地方では、梅が咲き始める頃です。朝の日の出が心なしか早まったような気がします。

ロータリーの特別月間としては、2月は「世界理解月間」でもあります。

1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスター・ローラー、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」と指定されています。

この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブプログラムを行うよう要請されています。

また、2月23日の創立記念日は、世界理解と平和の日と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。

さらに2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。

1912年4月14日夜、ニューファンドランド沖を航海中の豪華客船タイタニック号は巨大な氷山と衝突し、

一方、流氷は海水が直接凍ったものです。だから流氷の氷は塩分を沢山含んでいます。北極の氷はほとんどがこの海水が直接凍ったものです。

今日の一言：「仁義礼智信」（儒教より）

仁：誰それと隔たりなくいつくしむ心

義：義理を尽くす心

礼：礼儀を重んじ感謝する心

智：善悪を見分ける心

信：信じる心

プログラム

ネパール・ジョムソン奉仕活動調査について

特別委員会 宇野晃成委員長

来週の2月10日～2月18日、佐々木会長、田中茂会員、田中大成会員、それから私の4名にてネパールのジョムソンに視察旅行に行ってまいります。

